

Abstract: 北東アジア開発銀行 (NEADB) の創設

一、前言：「開発銀行」（開発金融）についての基本認識

I 「協力」とは：地域協力、多角協力、総合協力、コンセンサス協力、未来指向協力

II 日本の関わり：対外政策の再確認、国土開発計画の在り方

二、NEADB 創設について、4 点に分けて述べたい。

I NEADB 創設に当たっての「清算」（「阻害」要因の除去）

- 1 冷戦思考からの脱却
- 2 既得権層による「自己改革」
- 3 地域国際機関「過剰」論への対応 (NEADB の低コスト、高効率化)
- 4 日本経済停滞の中の負担増
- 5 Grand Design の空白

II 21 世紀未来指向型 NEADB 構想

- 1 「北東アジアコンセンサス」指向型
- 2 「小さく生まれ、大きく育つ」発展型
- 3 「官民共同・多国間協力」プロジェクト型
- 4 「地方自治体、地場産業、民間」参画型
- 5 「域内貯蓄」源泉型
- 6 「社会原理・国際原理」配慮の 21 世紀型

III NEADB 創設の行動計画 (AP アクションプログラム) (付 図表)

1 AP の全過程の設営 (縦軸)

- ① ビッグバン (NEADB 発足) 時期の設定 (日本イニシアティブ型)
- ② 合意形成期 (AP のフェーズ I、日中韓先行型)
- ③ 準備設営期 (のフェーズ II、「域内」先行型)
- ④ 設立育成期 (フェーズ III、「域外」連携型)
- ⑤ 拡大発展期 (フェーズ IV、実績評価型)

2 担い手レベルの連携 (横軸)

- ① 地方・民間 NGO レベル
- ② サミットレベル
- ③ 閣僚会議レベル
- ④ 政策実行レベル
- ⑤ 「域外」連携レベル
- ⑥ 国際機関レベル

3 F/S (feasibility study 予備調査) の実施

- ① 分野 (事業) 別
- ② 多国間 (地政) 別
- ③ 資金調達別
- ④ プロジェクト順位別
- ⑤ 先行地域開発協力機関の経験
- ⑥ 研究・広報活動の活性化
- ⑦ 課題と難点への対応

4 組織・規程作成の企画調査

- ① 目的
- ② 加盟資格
- ③ 組織・規約
- ④ 資本規模・応募シェア
- ⑤ 投融資対象地域・業務内容
- ⑥ 本社地点
- ⑦ 人事配置、等々

IV NEADB 創設の必須性

北東アジア学と地域開発金融の政治経済学を考える

三、小結：地方自治体・NGO の地位と役割

1 地位：NEADB における当事者 (Actor) としての確立

2 役割：参画と透明度、コンセンサスの向上に寄与

(了)